

2025年 7月 29日

## 2024年度「市民防災・減災活動公募助成」事業実施報告書

団体名 東北大大学 SCRUM  
2024年度代表 氏名 菅原一真

### ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

### 1. 助成プロジェクト名

東北大生による持続可能な語り部に向けた体制整備

### 2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。 会員数など。180文字程度まで)

会員数は68名。東日本大震災の発生後に、「1人でも多くの学生を被災地に」をスローガンに東北大学生ボランティアの活動を継承・発展させることで、東北地域の復興を目的にして設立された。現在は、被災地での震災伝承活動や、東北地域の魅力を伝える活動などを行っている。

### 3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

2023年度より開始した石巻市震災遺構大川小学校(以下、大川小学校)語り部活動を継続、発展させる。大川小学校で語り部を行う大川伝承の会と連携し、訪問者を対象に語り部活動を実施することに加え、多様な震災遺構・伝承施設の視察を行って語り部活動の発展に生かす。本プロジェクトを通じて、大川小学校の教訓をより多くの訪問者が自分事として捉えるとともに、被災当事者以外も関わる持続可能な伝承のモデルを構築する。

### 4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

昨年度より開始した石巻市震災遺構大川小学校(以下、大川小学校)語り部活動を継続、発展させる。大川小学校で語り部を行う大川伝承の会と連携し、訪問者を対象に語り部活動を実施することに加え、多様な震災遺構・伝承施設の視察を行って語り部活動の発展に生かす。本プロジェクトを通じて、大川小学校の教訓をより多くの訪問者が自分事として捉えるとともに、被災当事者以外も関わる持続可能な伝承のモデルを構築する。

### 5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

プロジェクトの実施を通して、これまでに6回、計230名以上の方に現地で語り部ガイドを聞いてもらったことが結果である。現地で聴いた方からは、立場が似ておりより自分事として捉えることができた、災害に対する意識を変えたいと考えているのが伝わった、防災意識が変化したといった感想があり、災害や防災に対する意識の向上に貢献した。また、語り部で聞いたことを他の人に伝えたい、災害があったときの行動について話したいという感想があった。このことは、語り部を聞いてくださった方に加えて、その方々の周囲へも震災の出来事と教訓を伝えることができた。

## 6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

2024 年度の課題としては学業との両立を考えた際に、語り部の回数が確保できない点が挙げられる。現時点では、多様な学部・学年の学生を巻き込むことが解決の糸口になるのではないかと考えている。また、今後の展望として、大学のサークル活動であるという強みを活かし、今後も現地での学生語り部を継続していきたいと考えている。新入生の入学が毎年あることで、若い世代への継続性が担保されている。また、今の学生語り部に加えて、現地ではない場における語り部という形をとる方向性も新たに考えられる。2024 年 9 月に小学校にて現地の写真をスライドにし大川小での出来事を語るという授業を行った。

## 7. 参考資料：プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、必ず、別途、ご提供ください。



↑2024年8月25日震災伝承ツアー



↑2024年12月8日全国被災地語り部シンポジウムin阪神・淡路



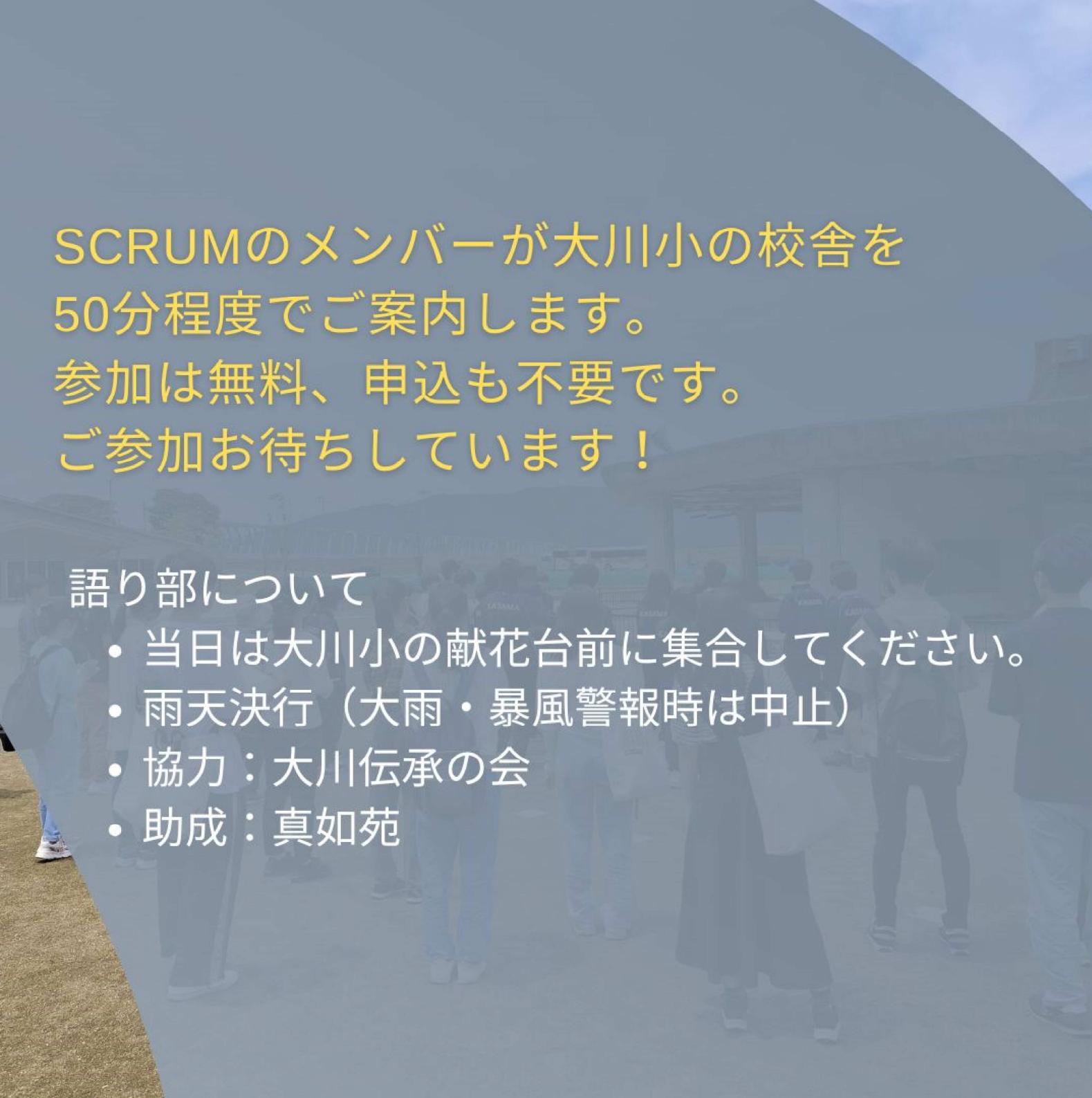
石巻市震災遺構

# 大川小 学生語り部ガイド

2024年度 第3回  
11月4日(月祝)

第一部11:00 ~  
第二部14:00 ~

※第一部、二部ともに同じ内容  
となっております。

A photograph showing a group of people, likely students, standing in front of a large, light-colored school building. They are dressed in casual attire, and some are wearing dark jackets with "KANAGAWA" printed on the back. The scene is outdoors, with trees and a clear sky visible in the background.

SCRUMのメンバーが大川小の校舎を  
50分程度でご案内します。  
参加は無料、申込も不要です。  
ご参加お待ちしています！

### 語り部について

- ・当日は大川小の献花台前に集合してください。
- ・雨天決行（大雨・暴風警報時は中止）
- ・協力：大川伝承の会
- ・助成：真如苑